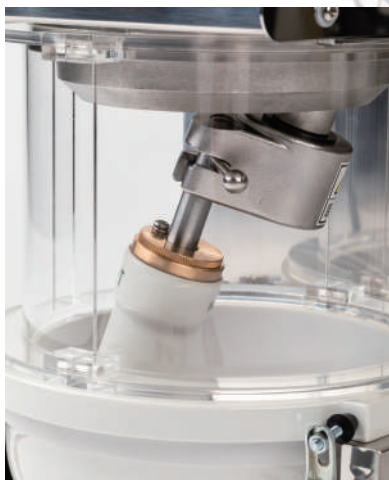


食品から医薬、医学、化学、ハイテク分野まで、
 攪拌・播潰の多様なニーズにお応えする
 伝統と信頼の100年企業ISHIKAWAです。

D101S/D16S

磁器鉢(乳鉢)と磁器杵(乳棒)を基本構造としています。
 2ℓくらいまでの比較的小規模な構造から研究開発での
 利用に適しています。

攪拌・播り潰し、混合、練り合わせ



D16S



- 磁器鉢(乳鉢)、磁器杵(乳棒)を搭載した機械*1)
 磁器は化学的安定の性質を持ち、耐薬品性、耐摩耗性、耐蝕性、高靱性、硬度にも優れた材質です。
 また磁器の肌理は、化学製品に強く、医療品、化粧品を扱う作業にも好適です。
- 120年以上引き継がれてきた石川式攪拌播潰機の攪拌播潰の基本構造は変えずに、コンパクトな筐体に格納しました。
 本体はオールステンレス製でクリーンルーム、グローブボックスでもご使用頂けます。(塗装仕様も制作)
- インバーター、タイマーが標準装備されていますので、杵の回転数(回転速度)の変更や運転時間の設定が可能です。
 攪拌播潰条件の設定と処理結果の再現性に便利です。
- 従来の卓上機と比べ磁器鉢(乳鉢)の機械への出し入れが簡単になりました。(弊社既存卓上機との比較)

*1)磁器鉢(乳鉢)と磁器杵(乳棒)は、それぞれ高純度アルミナ乳鉢と高純度アルミナ杵(乳棒)、石臼(花崗岩)とステンレス杵(テフロン杵先、木杵先)に変更可能です。但し石臼はD16S用のみ
 また現在お使いの(同じ号数の)型機械に搭載されている鉢と杵は、そのまま載せ替えてご利用頂けます。

〈その他の特徴〉

- ・マグネット式で着脱が用意な飛散カバー付き
- ・ベルトレス駆動なので、ベルトのテンション調整や交換が不要
- ・飛散カバーを装着しないと起動しない安全装着を標準装備

石川式攪拌播潰機の特徴

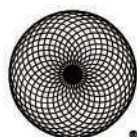
ISHIKAWAの攪拌播潰機は、「攪拌」「播り潰し」「混合」「練り合わせ」を同時に行うことが出来る、世界で唯一の機械です。独自の基本構造で、密度の高い粒径均一性、混合均一性を実現し、製品の品質向上に貢献します。作業時間の短縮や、省力化などにもつながったと、数多くのお客様にご好評頂いております。

■仕様

形式	回転方式	鉢			機械の外形寸法			電源 単相 100V (W)	杵 の数	かき 棒	重量 (kg)
		内径 (mm)	深さ (mm)	使用 容積 (ℓ)	長さ (mm)	幅 (mm)	高さ (mm)				
D101S	OR式 (※1)	115	67	0.2	330	248	340	60	1	無	15
D16S		155	85	0.4	378	260	400	90	1	無	20

(※1) 回転方式「OR式」: 鉢は回転させず、1組の杵を公転させながら自転させる機構。※磁器製品は表記の寸法より多少の差がある場合もあります。

【ご注意】 機械の仕様や外観、外形寸法などは予告なく変更されることがあります。機械の最新情報については弊社までお問合せ、ご確認頂きます様お願い致します。



かくはん らいかいぎ
 攪拌播潰機のパイオニア ISHIKAWA

ISHIKAWA

株式会社 石川工場

〒135-0053 東京都江東区辰巳1丁目1-8

TEL:03-3522-1018 FAX:03-3522-1017 www.ishikawakojo.jp

石川式播潰機は、攪拌、播り潰し、混合、練り合わせの作業を一度に行う播潰機です。食品からハイテク分野まで、攪拌・播潰の多様なニーズにお応えする、伝統と信頼の100年企業 ISHIKAWA。